

11 番 堀 口 受付番号6番、質問議員11番、堀口恵一。

新東名完成後の向原地区工事用道路の活用を。

現在、新東名工事は大変おくれており、向原工区については、現時点で2022年4月21日まで工期延長している。しかし、主な工事用道路（尺里川沿い尺里橋～上の台橋間と現東名新尺里川橋下付近上り口より西南に延びる現東名側道～新東名工事現場まで）については完成しており、びっくりするほど立派な工事用道路が確認できる。

新東名現場付近は高松山ハイキングコースが通る場所でもあり、大変景色がよいところである。足柄平野、遠く太平洋に浮かぶ大島、箱根明神ヶ岳の稜線、丸山、浅間山などがよく見える。「平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ」（山北町ホームページより）では、「パーキングエリアかサービスエリアをつくってもらえるようNEXCOに申し込んでほしい」との意見も出されている。ここにはすばらしい眺望があり、展望パーキングを設置すれば、多くの人が訪れることと思われる。

また、ここまで登ってくると、高松山地区が非常に近く見える。地図で見ると新東名工事用道路北端から700メートル程度北に延長すると既存道に接続でき、高松山地区までの自動車ルートができる。隣接するハイキングコースも含め整備すれば地区の活性化に役立つと思われる。

そこで質問をする。

1、尺里川沿い（尺里橋～上の台橋間）の工事用道路は町道になると聞いている。道幅は6.5メートルから8メートル程度あり、幅2メートル程度の歩道を片側につけても対面通行できる幅である。先行してこの地区の道路計画に合わせた土地利用計画を検討してはと考えるが、現在何か計画、または考えはあるか。

2、現東名新尺里川橋下付近の新東名工事用上り口より新東名現場までの道は、最終的には町へ移管すると聞いている。高松地区から(株)小笠原プレジションラボラトリー付近までは細いが軽トラが通れる程度の道があり、新東名工事用道路を北に延長(直線距離で700メートル程度)して、その道に接続すれば高松集落にも行けることになる。

道を通すことにより集落の環境整備、再生にもつながると考える。また鳥獣被害が言われる昨今、被害の減少に役立つ可能性もある。将来的に新東名工事中道路北端より道を延長接続し、同時にハイキングコースの再整備を進めて地域活性化を図ってはと考えるがいかがか。

3、前回の一般質問の後、NEXCOに「一部(柳橋)盛り土構造にすることにより川西と同程度の金額でフルスマートインターができるのでは」と質問したところ、「当社としましては、具体的な提案を地元発意により挙げてきた段階で相談させていただくこととなります。」(2019年6月24日)との回答をいただいている。一部(柳橋)を盛り土にした場合、新東名の北側に広いスペースができる。また新東名南側の残存小山を平らに削ると広いスペースができる。結果的に上下線にパーキングエリアをつくることは可能と思われる。(都夫良野トンネル事故の多発現状を考えた場合、NEXCOとしても高松トンネルの対応拠点として重要な場所であり、全額を国(NEXCO)でできると考える。)

このチャンスを逃すのはもったいないと思うので、パーキングエリアかサービスエリアをつくってもらえるようNEXCOに申し込んでみるのはいかがか。

以上、よろしく願いいたします。

議 長 答弁願います。町長。

町 長 堀口恵一議員から「新東名完成後の向原地区工事中道路の活用を」についての御質問をいただきました。

初めに、1点目の御質問の「尺里川沿い(尺里橋～上の台橋間)の工事中道路は町道になると聞いている。道幅は6.5メートルから8メートル程度あり、幅2メートル程度の歩道を片側につけても対面通行できる幅である。先行して、この地区の道路計画に合わせた土地利用計画を検討してはと考えるが、現在何か計画、または考えはあるか」についてであります。御質問の尺里川右岸には、のり面に広がりのある土地がありますが、工事中道路が計画された当初より、複数の土地所有者から道路が整備されたら分家住宅や宅地分譲を行いたいとの意向がありました。そして、当該地域の都市計画区域での用途は、第1種住居地域であり、土地所有者の意向とも一致している

ことから、民間主導による宅地化を目指していく考えであり、必要に応じて、民間事業者などと連携を図り、土地利用に取り組んでまいります。

次に、2点目の御質問の「現東名新尺里川橋下付近の新東名工事用上り口より新東名現場までは、道を通すことにより集落の環境整備、再生にもつながると考える。また鳥獣被害と言われる昨今、被害の減少に役立つ可能性もある。将来的に新東名工事用道路北端より道を延長接続し、同時にハイキングコースの再整備を進めて地域活性化を図ってはと考えるがいかがか」についてであります。御質問の高松山から小笠原プレジジョンラボラトリーへの通り抜けが可能な道路は滝沢・高松作業道として、林業振興のため、整備した道路で、御指摘の利用方法にした場合、莫大な予算をかけ、認定道路として整備する必要がありますので、現在のところ、新東名工事用道路と接続し利用していく考えはございません。また、自然の中を歩くハイキングコースの場合は、土の上を踏みしめて歩くことが好まれるため、舗装された道を新たなハイキングコースとして認定することは難しいと考えております。

次に、3点目の御質問の「前回の一般質問の後、NEXCOに「一部（柳橋）盛り土構造にすることにより川西と同程度の金額でフルスマートインターができるのでは」と質問したところ、「当社としましては、具体的な提案を地元発意によりあげてきた段階で相談させていただくこととなります」

(2019年6月24日)との回答をいただいている。一部（柳橋）を盛り土にした場合、新東名の北側に広いスペースができる。また新東名南側の残存小山を平らに削ると広いスペースができる。結果的に上下線にパーキングエリアをつくることは可能と思われるので、パーキングエリアかサービスエリアをつくってもらえるようNEXCOに申し込んでみるのはいかがか」についてであります。中日本高速道路株式会社に確認しましたところ、パーキングエリアやサービスエリアの設置は、設計要領に基づき、休憩施設相互の位置関係、提供するサービスの内容、本線交通特性・道路構造・地形的条件、設置にかかわる費用対効果など、総合的に考慮して決定されることとなりました。

設計要領では、目安としての標準間隔が定められて、全ての休憩施設相互は15キロから25キロ、サービスエリアでは50キロから100キロとなっております。

す。中日本高速道路株式会社に確認したところ、秦野市にサービスエリア、小山町にパーキングエリアが約20キロ間隔で配置され、適正な設置間隔であり、向原地区に新設パーキングエリアを設置した場合、トンネル間に挟まれた位置で、本線との分合流車線が必要となり、安全面並びに交通渋滞の助長など、円滑な交通の流れの妨げが懸念されること、さらに、立ち寄りが分散化し、それぞれの休憩施設の採算性が図れないなどにより、向原地区にパーキングエリアを新設することは難しいとのことでした。

したがいまして、町としては、新東名高速道路の供用後の状況に注視し、配置条件の変更等があれば、検討していきたいと考えております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 1 番の質問ですが、「民間主導による宅地化を目指していく考えであり」ということで、「連携を図り、土地利用に取り組んでいく」ということで、回答がありました。

民間と連携するに当たるにしても、例えば公園をつくるとか、道の脇道をどうやってつくるかと、そういったイメージを、ある程度、先行して出さないと、後回しになると、行きどまりの道になったり、使い勝手が、実際、現在の町での、かなり行きどまりの道とかできているかと思えますけども、後手に回った場合にはそうになってしまうので、先手を打った形での対応が必要かと思えます。そのためには、たたき台になるイメージを、こんな感じだよというのが、一つ町に出していただければ、それはこっちのほうがいいよとかいうことが口添えができるかと思えますので、何かこの町でたたき台みたいなものを出すという考えはないのか。

議 長 町長。

町 長 基本的に答えたとおり、まず、それが民地であるということ。それから、一般的に今住宅のほうを所有者の方が望んでいるというような状況ですので、そういったような計画の中の問題と、そして実際に、それ以外の、もし要望があった場合に、そういったような土地利用計画を変更しなきゃいけないというような場合においては、当然、そのようなことを検討しなきゃいけないというふうに思いますが、もう少し実際に所有者の方の意向を聞いてみないと、町で、じゃあ優良な住宅地を造成するために公園をつくったり、い

ろいろな道路を入れたりというようなことになると、やはり、また、それはそれなりに考えなきゃいけないというふうに思っていますので、今のところ、そのような要望も地権者の方から特にいただいておりませんので、担当都市整備課とも相談しながら、そういった対応をしていきたいというふうに思っております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 現在、東山北駅周辺では、東山北 1000 計画という形で、いろいろ実績が出ているかと思えます。尺里地区というのは、かなりちょっと手薄になっているんじゃないかなと思いますので、その辺のバランスについては、どうお考えでしょうか。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるとおり、今現在、東山北のほうに、本村地区のほうに、いろいろな総合計画の中でやっておりますけども、当然、尺里地区がその間に入って、若干何というんですか、おくらしているというふうに思っておりますので、そういった意味では地元の地権者なり、あるいは、また、いろいろな自治会の要望を聞きながら、当然、そういうような施設が望まれる場合には、そういうようなものやっていきたいなというふうに思っていますので。私の頭の中でも、やはり尺里地区は、これからいろいろな計画を立てなければいけないというふうには思っています。その中に、やはり、その住宅というのも非常に貴重なキーワードだというふうに思っていますので、人口減の山北町にとっては、やはり優良な住宅地というのも非常に必要ではないかというふうに考えております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 2 番目の質問ですが、莫大な予算をかけ認定道路として整備する必要があるのですが、難しいということですが、舗装されない、軽トラが通るような林道というか、その先がこうつながるようなレベルということは、どうでしょうか。

議 長 農林課長。

農 林 課 長 滝沢・高松作業道というのは、基本的には林道と同じような道路なので、これは一般の車両が通るようにつくられている道路ではございませんので、

これを一般の車両が通るような規格に直しますと、莫大な費用がかかってきますので、もう、そもそも論、道路計画自身を全て見直さないといつくることは難しいのではないかと思います。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 逆に林道でも結構ですけども、林道レベルのものでもあれば、車が通ることによって、鳥獣被害を防げれば、そういうヒルですか、ヒルの被害も少なくなるというふうに、好影響をもたらす可能性はあると思います。

また、林業にとっても役に立つかと思しますので、ちょっとその辺含めて、いわゆる、その山に人が入れるというのが一つ必要かと思っていて、そういう林道を要望していくというようなことは、どうでしょうか。

議 長 副町長。

副 町 長 御指摘の場所は林道、つまり作業道というのは、林道扱いになっているということは土地の登記もされてない。それで、御質問のように、集落間をつなぐ道路というような形で、それは、それなりに機能があるんですけども、集落間をつなぐ道路であれば、なおさらのこと、生半可な一般の方が、一般の車が何でも通ればいいというものでもないし、また不法投棄問題とか、その目に見えないものもかなり出てきてしまいます。それには、しっかりとした道路計画を立てて、道路をしっかりと維持できるようなものにしなければ、行政としては、その辺のところは考えられないということでございますので、御理解いただきたい。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 確かに、短期的に見たらできないという形だと思います。ただ現在、鳥獣被害とかヤマビルの問題、集落の再生とか、長い目で見た場合、今現在どんどんまずい方向に向かっちゃっているような感じがします。山の崩落も含めてですね。そうすると、やはり車が入れるか入れないかで、そこが生き延びるというか、崩壊しないで済むかどうかというところかという考えもしますので、現状のほうにつきましてはわかりましたので、私のほうとしましては、長い目で見ていくしかないという状況かと思えます。

今の話につきまして、山を守るという点から見た場合の効果というのは、今話した内容からいきまして、どう思われますでしょうか。全く効果がない

と……。

議 長 町長。

町 長 私も現場のほうをこの間行ってきましたけども、非常に、この間の雨で崩落して、県のほうで、治山事業でやっていただいております。ああいった場所から考えて、しかも作業道という取り組みから考えて、やはり、かなり制限があるのではないかと。仮に、私なんか思いましたけども、あんなの夜通るなんていうのはとんでもないみたいな道路でした。もうどこか落っこつても、もうしょうがないような、ちょっと避けたら、どっちか行っちゃいそうな場所があります。

やはり天候とかそういったことを考えると、あれは作業道で、あくまでも昼間に林業のため、あるいはそういったようなものための作業道であるなというふうに思っていますので、それが鳥獣被害のために、道路が、車が通れば鳥獣被害が減るということはあるかもしれませんが、基本的には、目的とかそういったことを考えますと、あの場所、しかも、ああいう崩落が非常に多いという地域を考えますと、非常に危険ではないかというふうに考えておりますので、その辺については御理解いただければというふうに思っています。

議 長 副町長。

副 町 長 すみません、すぐ終わります。あの道は地権者が、要するに山を持っている方の林業とか、そういうために了解を得ていただいた、通させていただいた道でありましたので、一般の方を入れる場合は、その周りの地権者にも、崩壊が進まないとか、そういう面でかなり手を入れなければ、一般の方に、通るには地権者の了解がとれないという面もあるということは御了解いただきたいと。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 現状は理解いたしました。ただ、今のままで、山がどうなるというふうに、先ほども崩壊が進んでいるということですが、はっきり言って、高松山の下のほうというのは、どんだめになっていっちゃうというイメージになってしまいますけども、そういう策は何かないでしょうか。

議 長 町長。

町長 別に、その高松山に限ったことではないんですけども、基本的に、その山北の山については、以前から木が、林業が、採算性がとれないということで、何十年にもわたって手入れが余り行き届かない。そのために木が弱くなって、また非常に大雨のときなんかには崩落するようなことがあるということで、非常に、そういう山が多い。たまたま、あそこの地域については、御理解をいただきながら作業道のほうを通させていただいたんですけども、全体とすれば、やはり地権者というんですか、山林をお持ちの方が何十年も、その管理のほうを、若干手を抜いた部分をどうしてもこれからやっていくについては、やはり県の水源林の関係とか、間伐をしていただいたり、そういったようなことの中で、今手を入れさせていただいているというのが実情ですので、なかなか一朝一夕には、その根のほり方であるとか、そういったようなものについては解決できないし、またアカネカミキリとか、そういったものも発生しておりますので、そういう中で、やはり林業自体を長期的に見ていかなければ、なかなか難しいなというふうに私は思っております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 3番目の質問ですが、設計要領ということで、休息施設相互間の距離とか、いろいろ規格があるということですが、また、あと、「トンネル間に挟まれた位置で、本線との分合流線が必要となり」この部分については、多分、設計の仕方だと思うんですが、ちょっといろいろこう条件がありますよということだったと思うんですが、結構、ここ、この地域というのは山、山間地で抜ける場所というのが余りないということで、今回も向原か川西かの2カ所しか、多分、空間があいているところがないんだと思うんですが、最初に述べたような形で、町として考えた場合に、もしもですけれども、ただでこれができるとしたらば、よい話と思うんですけども、町長としてはどう思いましたか。

議 長 町長。

町 長 基本的にあそこの場所は見晴らし等、非常に素晴らしいということで、あそこをやっているゼネコンさんについても、そういったような見晴らし台等をつくっていただいて、また、高松山にハイキングコースとしても、若干整備していただいたりしております。

ですから、町としては、あそこのところはそういったような、ハイキングとかそういったような、あるいは、また道路も非常に完備しておりますので、そういった意味では、そういったような山をお好きな方とか、そういった方に使っていただければ、非常にありがたいなというふうに思っています。

一方で、パーキングエリア、あるいはサービスエリアということになりますと、非常に民地を使うということですから、それについては、ハードルが余りにも高いというふうに考えております。もちろん、中日本の距離の問題もあるし、さまざまな問題もございますけども、一番の問題は、やはり地元から、そういったような要望が出ないだろうというようなことを頭に入れておりますので、一番いい例が私のところでもちょうど高松に行くところが、川をわたって仮設の道路ができております。本来、仮設道路を使わなくても、今の道路を拡幅していけばよかったですけど、どうしても、最終的には、オーケーをいただいたみたいですけども、待てないということで、当然、仮設のほうで行ったというようなことでございます。

そのくらい、やはり、あそこの向原地区の要するに土地の利用については、やはりハードルが高いというふうに認識しておりますので、今までのいろいろな、私も地元ですから、いろいろ聞いておりますけども、やはり、それは例えば8割の方が賛成でも2割の方が反対だったらできないわけですから、そういったことを考えますと、非常にサービスエリア、あるいはパーキング等は、まず難しいということですから、景観がいいということは、私も承知しておりますから、そういったものを生かすことについては、本当にこれから、町としても真剣に考えていきたいというふうに考えております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 地元からそういう意見が出ないだろうというような話をされたんですけど、ここにも書きましたけれども、前年2月に実施した議会報告会の意見交換会のまとめでは、「パーキングエリアかサービスエリアをつくってもらえるようNEXCOに申し込んでほしい」という意見も出されていたんですね。私1人の話ではなくて、そういう意見交換会の資料も公開されて出ていますので、回答が何も書いてなかったですけども、これについては回答しなかったのかできなかったのかとか、その辺のことはちょっとわかりますでしょう

か。

議 長 それは議会の話ですので、町長に質問する案件ではございませんので、お気をつけをお願いいたします。

副町長。

副 町 長 あと、それから、まことにお答えづらいんですが、ただでやったらできる、どうなんだと、そういう御質問については、ちょっと町のほうとしては、余りにもちょっとレベルが違いますので、お答えできないということで、町長のほうとしても、その辺は御理解いただきたいと思います。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 いろいろ確認されたということですけど、これはNEXCOの工務課のほうに確認したということよろしいでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 お答えします。

中日本高速道路秦野工事事務所へ確認しました。ここの工事機関を担当している事務所です。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 現時点計画があって、その計画に従って進んでいるということだと思いますが、工務に問い合わせた場合には、どうしても現在の工事を完成させるという目的で動いていますから、当然、変更なんてあり得ないということかと思えます。ですから、何かその県とか国とか、その別ルートで打診するということはできないんでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 お答えいたします。

新東名高速道路の工事につきましては、都市計画決定から始まりまして、基本計画、整備計画と、段階を踏みながら進められてきております。したがって、今ここで変更をよその機関からどうこうするという事は考えづらいということで御理解いただきたいと思えます。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 確かに考えづらいんですけども、そういったのは欲しいという意見もありましたということですので、状況は理解いたしました。

ちょっと関連してですけれども、スペースはありますので、新東名に接続しない高松山ハイキングコースに連動した展望パーキングを町単独でつくるというのはどうでしょうか、代がえじゃないんですけれども。

議 長
町 長

町長。
答えになるかどうかわかりませんが、今現在、中日本さんのほうからの、とにかく早く完成させたいといっても2023年度ということで、正式にあと4年かかる。そして、その後の計画は、もともと3車線分の用地が買収してありますから、それを早くやりたいというような意向でございます。山北町といたしましても、できるだけ早く片側2車線から3車線のほうに早くやっていただきたいというふうに思っておりますので、そういう機会の中に、また違う、何というんですか、地元要望があれば、また、それは考えていきたいというふうに思っておりますので、たればでは、なかなかいかないんだろうというふうに思っております。

議 長
11 番 堀 口

堀口恵一議員。
3車線の話もあるという話なので、ちょっと長い目で見ていきたいと思
います。
以上で、質問のほうは終わらせていただきます。